

遠野市監査委員告示第1号

平成25年2月13日

地方自治法第199条第4項の規定に基づく定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を別紙のとおり公表します。

遠野市監査委員 佐藤 サヨ子

遠野市監査委員 佐々木 資光

遠野市監査委員 荒川 栄悦

## 平成24年度定期監査結果報告書（後期）

### 1 監査の目的

定期監査は、平成24年度における財務に関する事務の執行及び経営に係る事業が地方自治法第2条第14項及び第15項の趣旨に則り、合理的かつ効率的に行われているかどうかについて監査することを目的に、同法第199条第4項の規定に基づいて実施するものである。

### 2 監査の期日及び対象課等

- (1) 実施期間 平成25年1月9日から1月28日までに延べ8日
- (2) 監査対象及び説明聴取の実施期日 次表のとおり20課等及び小中学校については、19校中10校を対象に実施した。

月 日	対 象 課 等
1月9日	遠野小学校、上郷小学校、青笹中学校、上郷中学校
1月11日	附馬牛小学校、土淵小学校、附馬牛中学校、土淵中学校
1月16日	学校教育課、教育研究所、青笹小学校、遠野中学校
1月18日	小友地区センター、松崎地区センター、青笹地区センター、上郷地区センター
1月21日	綾織地区センター、宮守地区センター、学校給食センター、宮守学校給食センター
1月23日	附馬牛地区センター、土淵地区センター
1月25日	文化課、調査研究課、市民協働課、遠野地区センター
1月28日	生涯学習スポーツ課、国体開催準備室、子育て総合支援課、教務課

### 3 監査の内容

- (1) 所管事務の執行状況
- 36の事務事業について、財務に関する事務の執行が適正かつ効率的に行われているか、各種の事業が合理的かつ効率的に行われているかを主眼として監査した。
- (2) 共通事項
- ア 各課等で該当する使用料・手数料
  - イ 現金等の保管状況
  - ウ 郵便切手類の保管及び受払
  - エ 物品の管理及び出納
  - オ 車両の運行管理

### 4 監査の方法

監査書類の提出又は提示を求め、その内容について照合確認するとともに関係職員から説明を聴取して実施した。

## 5 監査の結果

各課等で所管する事務事業から抽出した予算執行及び事務事業並びに共通事項を監査した結果は、別記のとおりである。

# 監 査 結 果

事務処理上の軽易な誤りや不備な事項については、その都度関係職員に対して口頭で改善又は検討するよう述べたので、本書への記述を省略する。

## 【所管事務の執行状況及び意見等】

### 1 文化課

所管事務は、文化遺産の保護及び振興並びに普及に関すること、文化に係る施策の企画及び連絡調整に関すること、遠野遺産認定条例に規定する遠野遺産に関すること、郷土芸能の育成・振興に関すること、図書館及び博物館に関すること等である。

#### ○埋蔵文化財発掘調査費

特に問題点は見受けられなかった。

この事業費は、個人住宅建築に伴う土淵町栃内野崎遺跡発掘調査及び出土資料整理事業、各種開発に伴う遺跡分布調査や試掘調査及び子ども向け埋蔵文化財普及教室等の事業で、適正に執行されていると認められる。

子ども向け埋蔵文化財普及教室は、遺跡に興味をひく事業であると認められ、さらに市民の注目と理解が、より一層高まる企画の検討を望む。

埋蔵文化財有無の照会件数が急増とのことであるが、関係機関や建築業者等と連携し、状況を把握しながら早急に対応されていると認められる。また、その存在は「日本のふるさと遠野」の大きな魅力の一つであると思われる。

#### ○博物館費

特に問題点は見受けられなかった。

この事業費は、博物館及び博物館資料の管理、資料の受け入れ及び調査、特別展「柳田國男の生涯」（平成24年6月9日～9月30日 期間中入館者数13,770人）、科博震災復興コラボ・ミュージアムin遠野「恐竜にさわってみよう」（7月20日～9月7日）、7月28日開催の関連イベント「化石レプリカをつくろう」（参加者数22人）、博物館パンフレット・チラシ等の作成事業で、適正に執行されていると認められる。

平成24年度4月～12月末の博物館入館者数は、25,514人であるが、入館者の多くは「特別展」で集客された人数であると思われる。博物館の存在が市民の意識や日常生活の中にもっと取り込まれ、入館者増の行動に結び付くよう、例えば年間フリーパスポート（有料）の発行等の検討も望む。

現在、平成25年4月のグランドオープンに向けて、リニューアルが進められている「とおの昔話村」も「とおの物語の館」として生まれ変わることから、「遠野城下町

資料館」と併せて中心市街地活性化の中心施設として、さらに遠野の魅力を全国に発信し、観光客等が多く訪れ賑わうことを期待する。

## 2 調査研究課

所管事務は、遠野の文化を活かしたまちづくりの総合的な施策の推進に関する事、遠野文化研究センター運営委員会に関する事、遠野の文化に係る市民団体に関する事、遠野文化賞に関する事、その他遠野の文化の調査研究に関する事である。

### ○柳田國男没50年記念事業費

特に問題点は見受けられなかった。

この事業費は、平成24年8月23日～24日に開催した柳田國男没50年の節目に合わせた「国際文化フォーラム」事業、遠野城下町資料館グラフィック・バナー製作委託業務、遠野まちなかギャラリースポット移設取り付け業務委託料、及び博物館特別展バナー等製作業務委託料等の事業で、適正に執行されていると認められる。

「国際文化フォーラム」の開催は、後方支援活動として実施している震災関連の作業をしながらの企画で、柳田國男や遠野物語を調査研究している国内外の研究者が、遠野に集結して意見交換をし、理解を深めた意義は大きいと認められ、これを成功させたことは大いに評価できる。

遠野物語に関連する周年イベントの実施は、「遠野ブランド」の強化、進化に直結するものと考えられるが、さらに成果を生むための、実施後のフォロー展開(例えばフォーラムの内容を土曜講座で市民に親しみやすい形で伝える等)を期待する。

### ○遠野文化研究センター事業費

特に問題点は見受けられなかった。

この事業費は、文化や産業、環境などの調査研究、学習機会の提供、文化活動の促進、各種フォーラム等の開催(平成24年6月10日「日本絵本会議」、8月23日～24日「国際フォーラム」、11月3日「遠野文化フォーラム」)、講座(12月8日「土曜講座」)の開催、「三陸文化復興プロジェクト」献本活動等に係る事業で、適正に執行されていると認められる。

献本活動については、平成24年4月1日から受入れを休止しているが、平成24年11月末現在、献本者数約4,840人、冊数は約277,900冊(うち登録数191,303冊)である。

また、配本状況は、陸前高田市等沿岸被災地の図書館や小中学校等に69,455冊を寄贈している。

新設された調査研究課の事務分掌の中で、市民が実感できる体制を考え、地域の宝

物である遠野の文化の継承や紹介を色々な形で、工夫を凝らしながら事業実施していると認められ、今後の展開も大いに期待できる。

### 3 市民協働課

所管事務は、市民センター及び地区センターの事務及び事業の総合調整に関すること、市民憲章運動に関すること、自治組織その他の地域活動の育成に関すること、交通対策及び交通安全対策の総合的な企画、調整及び推進に関すること、消費者の保護に関すること、市民センター施設の管理及び整備並びに利用の許可に関すること等である。

#### ○地区行政一般事務費(区長報酬、行政区事務費交付金、市区長連絡協議会補助金)

特に問題点は見受けられなかった。

この事務費は、区長報酬、行政区事務費交付金、市区長連絡協議会補助金等の経費で、適正に執行されていると認められる。

市民協働をリードする担当課として、地域の生活や安全に関する種々の検討がなされて実施していると認められる。今後の自治組織のあり方についても、新たな視点での進展があるものと期待できる。

#### ○総合交通対策事業費(市営バス運行业務委託料)

特に問題点は見受けられなかった。

この事業費は、宮守町内を運行する市営バスの運行业務委託料等の事業で、適正に執行されていると認められる。

経費負担が大きい定期バスの利用状況を把握し、路線型デマンドバスに切り替えて運行していることは評価できる。

デマンド交通は、地域の実情に合わせたカスタム・メイド(特別仕様)であってこそ利便性が增大するものと認められる。市営バス運行については、さらに改善が図られることを期待する。また、教育委員会と連携を図りながら、総合交通対策の中にスクールバスの位置付けと利活用策についての検討を望む。

### 4 生涯学習スポーツ課

所管事務は、生涯学習の推進に関すること、男女共同参画社会の推進に関すること、高齢者団体の育成並びに高齢者の教養及び健康づくり活動に関すること、青少年の指導及び育成に関すること、勤労青少年ホームの管理運営に関すること、少年センターの運営に関すること、社会教育活動の推進に関すること、家庭教育に関すること、各

種学級講座の開設に関すること、芸術文化活動の推進に関すること、市民センターの自主事業に関すること、運動及びスポーツ習慣の定着に関すること、市民の健康づくり総合プログラムの推進に関すること、生涯スポーツ・健康スポーツの推進に関すること、競技スポーツの向上に関すること等である。

### ○都市交流推進事業費

特に問題点は見受けられなかった。

この事業費は、平成24年10月6日～8日に実施した武蔵野市との児童交流事業で、適正に執行されていると認められる。

今年度は、市内の児童20人、引率保護者4人と引率職員3人が武蔵野市を訪問し、武蔵野市の児童9人等と交流し、都市での生活体験、地域性の違いや生活上の共通点を感じながら、交流を図ったと認められる。

この事業は平成元年度から継続している相互交流事業で、24年間の歴史は、双方の市にとって貴重なデータの蓄積を生んできたと思われる。当市からは平成24年度で延べ414人の児童等が武蔵野市を訪問されている。遠野の将来を担う子供たちのために都市の生活体験ができる場の提供は、仲間との交流をとおして絆や視野を広げ、将来子供たちにプラスになる事業と思われるので、検証しながらさらに充実させた内容で継続することを望む。

### ○競技・イベントスポーツプログラム推進事業費

特に問題点は見受けられなかった。

この事業費は、競技スポーツのレベルアップを推進するため、遠野市体育協会と遠野市スポーツ少年団への補助金、スポーツ少年団が全国大会に出場した児童への旅費の補助や市内一斉町民運動会への助成等の事業で、適正に執行されていると認められる。

市民の健康づくり推進のために、各地区センターと連携したAED活用講習会の定期開催など、安全に関する活動強化もさらに進めることを望む。

## 5 国体開催準備室

所管事務は、選手強化に関すること、競技施設等の整備に関すること、宿泊及び衛生に関すること、輸送及び交通に関すること等である。

### ○岩手国体サッカー会場整備事業費

この事業費は、当市が平成28年度開催の岩手国体サッカー競技少年男子の競技会場となっているため、サッカー場の整備を行なう事業であるが、予算については全額減

額する予定とのことである。

会場整備計画については、平成25年度に国体記念公園市民サッカー場A面を人工芝に整備予定、平成25年度～26年度に遠野運動公園多目的運動広場を天然芝に整備予定、平成26年度～27年度に遠野運動公園陸上競技場を天然芝に整備予定とのことである。

国体開催の会場づくりについては、遠野の環境に合うサッカー場に整備するため、プロポーザル方式による入札予定とのことであるが、契約にあたってはその内容を吟味して整備することを望む。

国体を機に施設が充実することは、市民にとって利用価値が高まることであるが、開催後のメンテナンス計画も含め、様々な角度から検討し、品質面、経済性でさらに満足度の高いものにすることを望む。

## 6 地区センター(地区公民館)

所管事務は、市民憲章の普及推進に関すること、市政懇談会に関すること、自治組織その他の地域活動の育成に関すること、婦人学級・老人学級・家庭教育学級その他の学級の実施に関すること、体育・スポーツ・レクリエーション活動に関すること等である。

### ○生涯学習のまちづくり推進費

特に問題点は見受けられなかった。

生涯学習講座の開設については、各地区センターで様々な工夫、努力がなされていると認められるが、各種教室の開催にあたっては、P D C Aサイクル(Plan—計画・Do—実行・Check—検証・Action—改善)の見直しが、参加者不足解消の一助になるものと思われる。また、開催実績及び参加者アンケート等の記録は貴重な財産であり、市全体で共有できるよう「実施計画書兼結果報告書」等のフォーマット統一が図られ、意見交換の場で生かされることを望む。

### ○その他

市民との重要なコミュニケーション媒体である広報紙、機関誌等の発行については、各地区センター間で連携し、さらに魅力あるものにすることを望む。

「生涯学習のまちづくり推進費」及び地域づくり活動についての意見等については、次のとおりである。



地区センター	監 査 意 見 等
遠 野	<p>この推進費は、町老人クラブ連合会と連携して開催している「鍋城大学」（平成24年5月～平成25年2月までに10回開催）講座に係る講師謝礼等の経費で、適正に執行されていると認められる。</p> <p>今後の計画は、家族とひなまんじゅう教室、女子力アップ講座を開催予定とのことである。</p> <p>高齢者対象の「鍋城大学」講座は、昭和63年から長期に継続開催している講座で現在122人が登録されている。社会教育充実のための色々な工夫努力がなされ、内容も豊富であり充実した事業であると認められる。</p> <p>地域づくり活動については、遠野さくらまつりのメイン行事である「南部氏遠野入部行列」の充実を図るため、自治会長と遠野町地域婦人団体協議会が青森県南部町を訪ね南部氏の歴史を学習する等、伝統行事の継承を図りながら、多くの行事を通して地域を守り育てていると認められる。</p>
綾 織	<p>この推進費は、寿学級、綾織町女性リーダー研修会、綾織町の遠野遺産を巡る旅、小正月のつどい等に係る講師謝礼等の経費で、適正に執行されていると認められる。</p> <p>今後の計画は、ボランティアサークル育成講座、快適な田舎暮らし講座（綾織の食文化）、お菓子づくり講座を開催予定とのことである。</p> <p>各事業が巾広い年齢層を対象に計画実施されており、地域づくり活動については、地区センターを中心に地域全体が、良き伝統を時代ニーズに応じながら変化させ、継承するという共通認識のもとに、順調に進められていると認められる。</p> <p>また、継続発行されているミニ広報紙「あやおり」は、原稿も保育園・児童館・小学校・中学校から記事提供を受け発行されており評価できる。</p>
	<p>この推進費は、パン作り教室、ピザ作り教室、ちぎり絵教室、つるし雛教室、七宝焼き教室等に係る講師謝礼等の経費で、適正に執行されていると認められる。</p>

小 友	<p>今後の計画は、体験茶道教室を開催予定とのことである。</p> <p>若い人から高齢者向けまでの事業内容で、バランスのとれた生涯学習活動が展開されていると認められる。</p> <p>町内の裸参り行事にあわせた体験茶道教室は、多くの町民が体験できる事業であると認められる。</p> <p>地域づくり活動については、「産直ともちゃん」をはじめ「小友まつり」や「裸参り」を中心に各地区のまつり、御祝い等の多彩な郷土芸能や行事、小友技名人等の保存伝承に取り組んでおり、他地区には見られない独特の地域文化が根付いていると認められる。</p>
附 馬 牛	<p>この推進費は、陶芸教室、マクロビオティック教室(日本の伝統食をベースとした食事づくり)、革細工教室、お菓子の家づくり教室等に係る講師謝礼等の経費で、適正に執行されていると認められる。</p> <p>地域に在住する人材を活用し、経費をかけないで事業が企画されていると認められる。</p> <p>地域づくり活動については、各地区にある神社のまつりや郷土芸能の保存伝承活動を中心に、「遠野ふるさと村」や「遠野早池峰ふるさと学校」とも連携しながら、地域一体となって取り組んでいると認められる。</p>
松 崎	<p>この推進費は、マーブルアート体験講座、タイルチップキャンドル作り講座等に係る講師謝礼等の経費で、適正に執行されていると認められる。</p> <p>今後の計画は、手仕事教室、絵手紙教室、つるし雛作り教室を開催予定とのことである。</p> <p>つるし雛教室は特定メンバーのサークル活動的になっているように思われるので、広く参加を促すために募集方法の工夫等を含めた検討を望む。</p> <p>タイルチップキャンドル作り教室は、緑のふるさと協力隊員を講師にするなど、農業体験以外にもふれあいの場を提供しており、良い企画であると認められる。</p> <p>興味の深い講座がいろいろ企画されているので、単発にとどめず、「新たな楽しみ」がその講座を起点として広がっていく仕掛</p>

	<p>けも加われば良いと思われる。</p> <p>地域づくり活動については、演芸祭(3年に1回)、小正月行事、交通安全コンクール、食育活動等をはじめ各地区でのまつりや行事、交流が活発に行なわれていると認められる。</p>
土 淵	<p>この推進費は、親子肉まん作り教室、クリスマスアレンジメント教室、正月飾り作り教室等に係る講師謝礼等の経費で、適正に執行されていると認められる。</p> <p>今後の計画は、親子つるし雛教室を開催予定とのことである。</p> <p>地域づくり活動については、山口集落が国の重要文化的景観に選定されたが、「伝承園」と連携しながら、「佐々木喜善祭」や「土淵まつり」を中心に各地区で祭りを開催する等、遺産文化を大切に住民一体となって、多彩な行事に取り組んでいると認められる。</p> <p>広報「小鳥瀬」は、今後読者参画の部分が加われば、さらに地区住民の心をつなぐ媒体として活用されるものと思われる。</p>
青 笹	<p>この推進費は、笹っ子習字教室、コットンで作るクリスマスベル教室、子育て村小正月行事みずき団子づくり教室等に係る講師謝礼等の経費で、適正に執行されていると認められる。</p> <p>各種教室開催についても、地域をあげての取り組みがなされ、成果をあげていると認められる。</p> <p>長年継続している習字教室は、地区の身近な人を講師に開催されており、今後も継続を望む。</p> <p>地域づくり活動については、地域に密着した事業計画であり、青笹しし踊りに代表されるように、地域づくり、健康づくり、人づくりが着実に進められていると認められる。</p>
上 郷	<p>この推進費は、紙バンド手芸教室(老人クラブ向け)、上郷もちっこフェスティバル(小正月まつり)教室等に係る講師謝礼等の経費で、適正に執行されていると認められる。</p> <p>今後の計画は、料理教室、紙バンド手芸教室(一般向け)を開催予定とのことである。</p> <p>子供もから大人まで幅広い内容の教室が、開催されていると認められる。</p>

	<p>地域づくり活動については、先例にとらわれず、主旨目的に沿ってより良い方法を新たに模索し実践する姿勢が、町民の参加意欲をさらにかきたてていると認められる。</p> <p>特に自主防災組織体制強化の取り組みは、地域活動専門員と連携を図りながら、災害に強い地域づくりが進められている。また、町民が安全で安心して暮らせるように、毎日夜間パトロールが実施されており、地域づくり、健康づくり、人づくりが着実に進んでいると認められ評価できる。</p>
宮 守	<p>この推進費は、小学生と保護者を対象にした「森の学校稲荷穴塾」（乗馬体験、遠野遺産体験・藤沢の滝探訪、タイルチップキャンドル作り）、一般を対象にした「みやもり銀河カレッジ」（パソコン教室）等に係る講師謝礼等の経費で、適正に執行されていると認められる。</p> <p>今後の計画は、一般を対象とした雛作り教室、芸術文化鑑賞講座を開催予定とのことである。</p> <p>地域住民を講師に依頼する等、経費節減に工夫が認められる。</p> <p>社会教育充実のための諸施策については、実施後の結果分析がきちんとなされ、次の展開に活かされていると認められる。</p> <p>地域づくり活動については、地域づくり推進大会に落語家を呼ぶ企画をする等、参加しやすい工夫が認められる。その中で、コミュニティ活動は地域の連帯感があり、模範となる地域づくりが進められていると認められ評価できる。</p>

## 7 子育て総合支援課

所管事務は、少子化対策及び子育て支援の総合的な施策の推進に関すること、市立保育所の管理運営の調整に関すること、子育て及び子育ての環境づくりに関すること、私立幼稚園の振興に関すること、市立幼稚園の管理運営及び入園・退園に関すること、療育支援教室の運営に関すること、保育所における保育に関すること、特別保育及び認可外保育施設に関すること、児童館及び母親クラブの運営及び指導に関すること、児童館及び児童遊園の整備及び管理に関すること等である。

### ○わらすっこの育ち療育支援事業費

特に問題点は見受けられなかった。

この事業費は、障がい児及び障がい疑われる子どもとその保護者に対し、療育の場の提供や障がいの状況に応じた適切な指導、及び施設利用料の助成を行なうことにより保護者の負担軽減を図る事業で、適正に執行されていると認められる。

最近の新語である「子育て」という言葉は、一般に知られていないと思われるので、例えば「地域での子育て・子育て支援」などの表現を機会あるごとに使用し、子育て支援事業の存在や必要性を、もっと市民にアピールしてもよいのではないかと思われる。

### ○わらすっこプラン推進事業費

特に問題点は見受けられなかった。

この事業費は、遠野市少子化対策・子育て支援総合計画(遠野わらすっこプラン)に基づき、わらすっこ条例の普及啓発事業やわらすっこ支援委員会運営事業、わらすっこ基金事業で、適正に執行されていると認められる。

平成24年4月に福祉の里から本庁舎西館に子育て総合支援センターが移転するとともに、遠野市保育協会や教育委員会も移転し、子育ての拠点施設として相互連携を図りながら、わらすっこプランの推進に努力していると認められる。

わらすっこ基金助成事業の中で、遠野一輪車クラブの「一輪車ホップ・ステップ・アッププロジェクト」開催に係る助成事業は、一輪車を通して、自信や技術をレベルアップさせるとともに、一輪車の楽しさ、魅力を伝え演技活動の普及を図るための事業であり、遠野らしい基金事業であると認められる。

家庭、地域での「子育て力」が低下していると言われる昨今、例年に倍する回数で開催されている「わらすっこ支援委員会」での検討は、結論だけでなく意見交換の過程も貴重な内容を含んでいると思われ、さらに充実した事業に結び付くことを期待する。また、プラン推進の中に、子ども屋内公園の設置についての検討を望む。

## 8 教務課

所管事務は、教育委員会の会議に関する事、教育行政の長期かつ総合的な計画の策定に関する事、児童及び生徒の就学に関する事、就学困難な児童及び生徒の就学援助に関する事、児童及び生徒の交通安全対策に関する事、市立学校の設置、管理及び廃止に関する事、市立中学校の再編成に関する事、児童及び生徒の通学対策に関する事、教材整備に関する事、奨学生選考委員会及び奨学資金貸与に関する事等である。

### ○通学対策費(スクールバス購入費)

特に問題点は見受けられなかった。

この事業費は、平成25年4月に再編成される新中学校3校(遠野中学校、遠野東中学校、遠野西中学校)の遠距離生徒に対する通学体制確保として、スクールバスを購入整備する事業で、適正に執行されていると認められる。

購入車種は、中型バス(45人乗り)2台、マイクロバス(29人乗り)4台、ワゴン車(14人乗り)9台である。

スクールバスの運行体制及び運行業務委託については、ハード面及び運用に関するソフト面の全てにおいて安全性を優先し、さらに検討を加え万全を期して進めることを望む。また、市民協働課と連携を図りながら、遠野市総合交通対策の中にスクールバスの位置付けと利活用策についての検討を望む。

### ○遠野市立中学校再編成事業費

特に問題点は見受けられなかった。

この事業費は、平成25年4月から市内の中学校8校を閉校し、3校(遠野中学校、遠野東中学校、遠野西中学校)に再編成するため、市内各中学校閉校記念事業実行委員会に対する補助金や閉校に係る映像製作業務委託、教育環境整備等の事業で、適正に執行されていると認められる。

中学校再編成にあたっては、学校づくり協議会での各種の検討や、遠野中学校新校舎建設をはじめ青笹中学校、宮守中学校の施設整備等、多忙な一年であったと認められ、職員の頑張りとは努力は評価できる。

各校の閉校記念事業は、当該生徒・父兄のみならず地域全体にとって意義深いものとして厳粛に事業に取り組まれていると認められる。新生3校におけるこれからの伝統づくりも、それぞれの地域を挙げて進められていくものと思われる。

### ○その他

奨学資金貸付金の滞納繰越分の回収については、回収に向け努力していると認められるが、長期未納者については保護者を含む連帯保証人に督促する等、債権確保により一層の努力を望む。

## 9 学校給食センター・宮守学校給食センター

所管事務は、給食センターの施設及び設備の管理に関すること、給食運営計画に関すること、給食物資の購入、検収及び保管に関すること、給食の栄養献立・栄養指導及び衛生指導に関すること、給食費及び未納対策に関すること、食育及び地産地消の推進に関すること等である。

### ○学校給食事業費(調理業務委託料、配送業務委託料、衛生害虫駆除業務委託料)

学校給食調理業務委託仕様書及び学校給食配送業務委託仕様書に基づき、業務内容を確認し、業者の報告が必要と思われる書類については整備されたい。

この事業費は、学校給食センター及び宮守学校給食センターで学校給食の調理を行なう調理業務委託料、両給食センターで調理された給食(コンテナ)を小中学校20校(うち2校は特別支援学校)に配送する配送業務委託料、宮守学校給食センターの衛生管理を徹底するため、ゴキブリやネズミの駆除及び飛来昆虫等の進入を防止するための衛生害虫駆除業務委託料の事業で、適正に執行されていると認められる。

環境及び衛生管理については、より高い安心安全基準が要求される業務であり、的確な対応がなされていると認められるが、総合食育センターの完成を機にその精度がさらに向上することと、予防の見地に立って安心安全の追求にあたることを望む。

年間調理回数は201回、一日あたりの供給食数約2,500食、年間配送日数は201日で、給食供給人数は平成24年5月1日現在 2,028人、平成23年度の「地産地消」の推進では、米・発芽玄米は全量遠野産を使用し、野菜等を含めた地産地消率は65.3%とのことである。

### ○その他

学校給食費滞納対策については、平成23年度以前の滞納額が103,200円であるが、分割納付を継続しているということであり、職員の積極的な努力で成果を上げていると認められ評価できる。

## 10 学校教育課

所管事務は、市立学校の組織編成及び管理運営に関すること、市立学校の学級編成に関すること、教育課程に関すること、全国学力・学習状況調査及び岩手県学習定着

度状況調査に関すること、学校懇談会に関すること、特色ある学校づくり事業、就学指導・相談に関すること、学習指導の指導助言に関すること、食育に関すること、児童生徒文化行事奨励事業に関すること等である。

### ○遠野わらすっこ「夢の教室」事業費

特に問題点は見受けられなかった。

この事業費は、公益財団法人日本サッカー協会が運営している「JFAこころのプロジェクト」を活用し、人格形成において重要な時期である小学校5、6年生の児童が夢先生の授業を通し、夢や目標を持ち、自律及び協同の精神や規範意識に基づき主体的に生きていく心情や態度等、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方について、自覚を深めるための事業の謝礼や旅費等で、適正に執行されていると認められる。

この事業は、平成21年度から平成25年度までの5年間の継続事業で、平成24年度は遠野小、遠野北小、青笹小、上郷小、宮守小学校の5校で開催し、296人の児童が授業を受けている。

JFAの取り組みがきっかけでスタートした「夢の教室」は、将来を担う遠野のわらすっこのために、今後も内容を進化させながら継続されることを望む。

### ○特別支援教育推進事業費

特に問題点は見受けられなかった。

この事業費は、通常学級に在籍し、個別に特別な支援を要する児童生徒の学校生活上の支援を行なうための事業に要する報酬、報償費、旅費等で、適正に執行されていると認められる。

特別支援教育支援員は、各小中学校に12人(小学校5校に9人、中学校3校に3人)配置しているほか、ことばの指導など個別に特別な支援を要する児童の指導を行なうため、学習指導講師1人を採用している。

今後さらに変化への対応が必要な事業であり、そのための課題解決に向け努力されていると認められる。

## 11 教育研究所

所管事務は、教育に関する専門的事項及び技術的事項の調査並びに研究に関すること、教育に関する実態の調査に関すること、児童生徒の教育相談に関すること、教育関係資料の収集及び紹介に関すること、教育関係職員の専門研修に関すること、幼児の言葉指導に関すること等である。

### ○教育研究費



特に問題点は見受けられなかった。

この事業費は、学力向上、各種教育相談、幼児ことばの教室、社会科副読本作成等に係る事業で、適正に執行されていると認められる。

学力向上対策について、平成23年度全国学力調査の状況は、市内全体平均で小学校が全ての学年で全国平均を上回っているとのことである。中学校は全ての学年ではほぼ全国平均であるとのことで、成果や効果が表れており評価できる。

また、不登校児童生徒のために「適応支援教室」を開設し、情報交換も適切に行なわれていると認められる。

遠野市社会科副読本WEB版(中学校用)については、遠野スタイルの創造に向けて、存在をもっと一般市民にも告知すべきではないかと思われる。

### 【共通事項】

各課等で該当する使用料・手数料、郵便切手の保管及び受払、車両の運行管理については、特に問題点は見受けられなかった。

### ○現金の保管状況（通帳等）

通帳の保管状況は、平成24年11月30日現在、次表のとおりである。

なお、遠野市に属するもの及び団体等の通帳を含め預金通帳を多く保管している課等は、小友地区センター及び松崎地区センターで各11冊、預金通帳残高が多い課等は、調査研究課で 2,891,732円、今回監査対象20課等(学校は除く)で計97冊、合計金額が 20,209,786円となっている。

市の公金と同様定期的にチェックするなど、不正防止に向け今後もより一層厳正に取り扱われたい。

特に各地区センターにおける各種団体の会費及び募金等の徴収は、現金を一時保管し入金している状況もあることから、厳正に取り扱われたい。

NO	課 等 名	通帳冊数	預金残高 (円)
1	文化課	1	0
2	調査研究課	3	2,891,732
3	市民協働課	9	2,537,782

4	生涯学習スポーツ課	10	2,610,813
5	遠野地区センター	7	1,779,056
6	綾織地区センター	7	1,837,854
7	小友地区センター	11	1,184,243
8	附馬牛地区センター	7	1,179,892
9	松崎地区センター	11	2,398,376
10	土淵地区センター	8	958,585
11	青笹地区センター	5	1,961,249
12	上郷地区センター	4	325,369
13	宮守地区センター	10	530,835
14	子育て総合支援課	1	0
15	教務課	1	14,000
16	学校給食センター	1	0
17	学校教育課	1	0
合 計		97	20,209,786

### ○物品の管理及び出納

物品の管理及び出納については、備品管理一覧表に基づき職員からの聴取により監査を実施した。

物品の管理及び出納については、特に問題点は見受けられなかった。

特に、中学校については平成24年度末で閉校し、平成25年4月から新たに遠野中学校、遠野東中学校、遠野西中学校の3校に再編成されることから、物品の廃棄や所管替えに伴う引継ぎにあたっては、遺漏のないよう万全を期していただきたい。

### ○その他(小中学校について)

#### ・安全指導(避難訓練・防犯対策)について

東日本大震災を教訓に、地震を想定した避難訓練、不審者を想定した防犯訓練や教室が開催されており、児童・生徒の安全面に配慮した危機管理の訓練が行なわれていると認められる。

#### ・安全点検について

毎月月初めに定期的に安全点検や確認がされている。また、給食アレルギー児童・生徒の把握や対策、ノロウイルス対策等に万全を期しており、児童・生徒が安全に安心して学校生活を送れる状況であると認められる。

・校内の整理整頓について

学校生活を送るうえでの基本である整理整頓が良くなされており、児童・生徒が気持ち良く授業を受けられる状況であると認められる。

・特色ある教育活動について

各学校とも地域の特性を生かし、昔話や郷土芸能等の伝承活動及びスクールバンドや合唱等の音楽活動に積極的に取り組んでいると認められる。

市内小中学校に対する物品の管理及び出納の实地監査での意見等は、次のとおりである。

学 校 名	監 査 意 見 等
遠野小学校	<p>特に問題点は見受けられなかった。</p> <p>物品購入に関わる事務処理は、タイミングを逸することなく調達や管理がされている。また、校内も整理整頓や安全についても把握されており、児童が気持ち良く学校生活を送れる環境であると認められ、他校の模範となるものとして評価できる。</p>
附馬牛小学校	<p>特に問題点は見受けられなかった。</p> <p>早目に物品購入をし、授業に活かされていると認められる。避難訓練は、保育園、中学校、地区センターと合同で実施しており、他地域の参考になると思われる。また、避難経路や誘導標識も大きい文字で表示されており、児童の安全安心が徹底されていると認められる。</p>
土淵小学校	<p>特に問題点は見受けられなかった。</p> <p>早目に物品購入をし、授業に活かされていると認められる。その中で、電動糸鋸器の管理は、児童の安全を考え適切に管理されており、創造力育成に役立つ備品としての活用を期待する。</p> <p>小人数校の悩みを把握され、音楽や体育の授業を複数学年合同で実施しているとのことで工夫が認められる。児童が素直に成長し地域で活躍している様子が認められる。</p>
	<p>特に問題点は見受けられなかった。</p>

青笹小学校	<p>早目に物品購入をし、授業に活かされていると認められる。校内及び備品の整理整頓が徹底されていて教育環境が良く、まさに「目指す学校の姿」であると認められ評価できる。</p> <p>環境問題や安全対策への取り組みについては、学校単独ではなく地域全体で実施されていると認められる。</p>
上郷小学校	<p>特に問題点は見受けられなかった。</p> <p>避難訓練や不審者対策訓練及び校内安全確認は、適切に実施されている。特に登下校時は地域の見守り隊が児童の安全を監視しており、地域全体で安全対策に取り組んでいると認められる。</p>
遠野中学校	<p>特に問題点は見受けられなかった。</p> <p>早目に物品購入をし、授業に活かされていると認められる。また、新校舎の建設にあたり、毎月工事関係者を含めた工程会議に出席する等、生徒の事故防止対策に万全を期していると認められる。</p> <p>4月の新中学校開校に向け、3校それぞれの長い歴史の中で培われた文化を取り入れ、全く新たな伝統を創り出すため、生徒・職員・PTAが一体となって努力し準備を進めていると認められる。</p>
附馬牛中学校	<p>特に問題点は見受けられなかった。</p> <p>早目に物品購入をし、授業に活かされていると認められる。避難訓練にも工夫が見られ、学校の様子を地域に伝え、住民との信頼関係を大切にされており、生徒が安全に安心して学校生活を送っていると認められる。</p> <p>「事後処理は早く、事後指導はじっくりと」の考えが徹底されており、学力向上に向けて職員が一体となって取り組まれていると認められる。</p>
土淵中学校	<p>特に問題点は見受けられなかった。</p> <p>早目に物品購入をし、授業に活かされていると認められる。その中で、吹奏楽部の活動でレッスンマスター(レッスン機能付きデジタルレコーダー)が大いに役立っている等、備品の適切な管理と積極的な活用がなされていると認められる。</p>
	<p>特に問題点は見受けられなかった。</p> <p>物品購入に係る事務処理が早く、必要な備品(小黒板)については</p>

青笹中学校	<p>既製品に頼らず、創意工夫でオリジナルの完成品に仕上げており、生徒がより良い環境で学校生活を送っていると認められる。</p> <p>統合に向けての準備がスムーズに行なわれるよう、PTAへの説明等順調に進められていると認められる。</p>
上郷中学校	<p>特に問題点は、見受けられなかった。</p> <p>父兄が自主的に重機で校内除雪にあたって下さるなど、学校経営重点の一つである家庭・地域との連携が図られていると認められる。</p>